

通常学級における学習上の 困難さに着目した教科指導のあり方

～発達障害の可能性のある児童生徒等に学ぶ～

近年、小・中学校等の学校現場では、通常の学級に在籍する発達障害の可能性のある児童生徒に対する指導の充実が喫緊の課題となっており、新しい学習指導要領においても、各教科の「指導計画の作成と内容の取扱い」において指導方法の工夫が明記されることになりました。

こうしたことを踏まえ、発達障害教育の先進的な取組や今後の方向性についての講演、本学における文部科学省受託研究事業の経過報告を通して、発達障害の可能性のある児童生徒に対する教科指導のあり方について理解を深める時間を共有できればと考えています。

平成31年 **2月21日** 木

13:30～15:00 (13:00より受付開始)

講演者

東北福祉大学 教育学部教育学科
教授
樋口 一宗 先生
[専門領域] 発達障害児教育学

対象

本学の教職員、学生
及び一般

会場

愛知教育大学
本部棟3階 第一会議室

プログラム

開会の挨拶

1. 講演(60分)

「発達障害の可能性のある子供たちとともに学ぶ」
東北福祉大学 教育学部教育学科
教授 樋口 一宗

2. 事業の経過報告(20分)

①全体説明 教職キャリアセンター
教科教育学研究部門代表 数学教育講座
教授 山田 篤史

②事例報告(社会科)

社会科教育講座
准教授 真島 聖子

閉会の挨拶